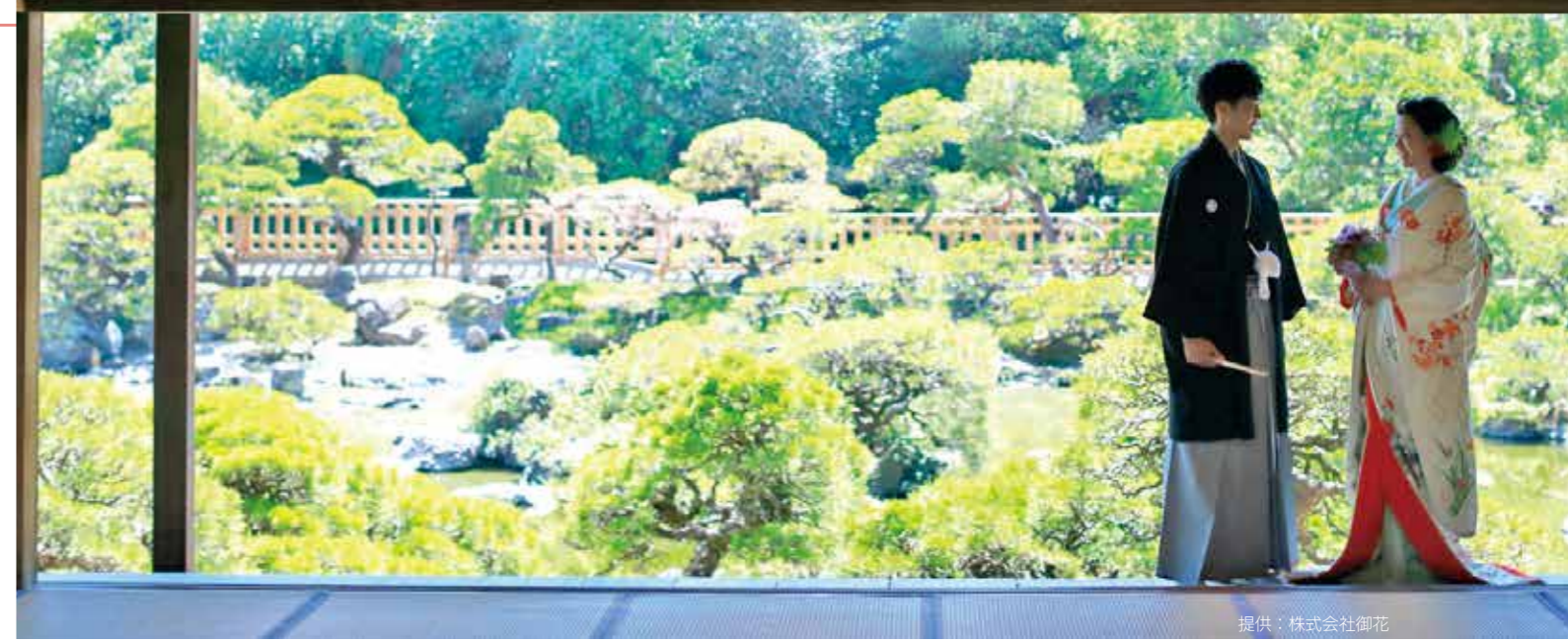




【結果3】

Q 結婚とは…に続く言葉で、思いつくものは何ですか



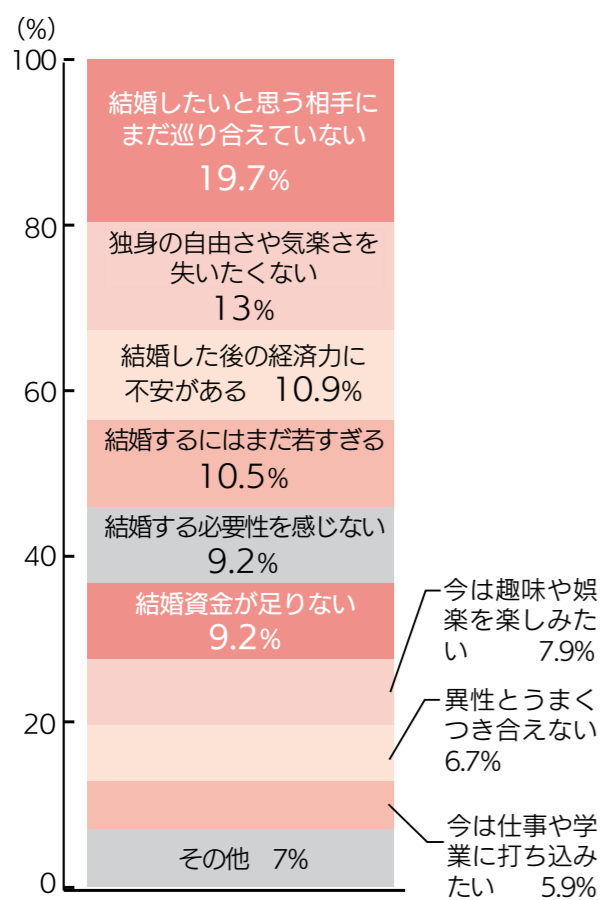
提供：株式会社御花

進む少子化・未婚化 **そこで** 今どきの結婚観を調査

市内の未婚率は年々増加し、少子化が進行しています。結婚適齢期を迎えた人たちは今、結婚に対してどのようなイメージや考えを持っているのでしょうか。市内の独身男女119人にアンケート調査をした結果、結婚願望があるにも関わらず、結婚に対して不安を持っていることが分かりました。

【結果2】

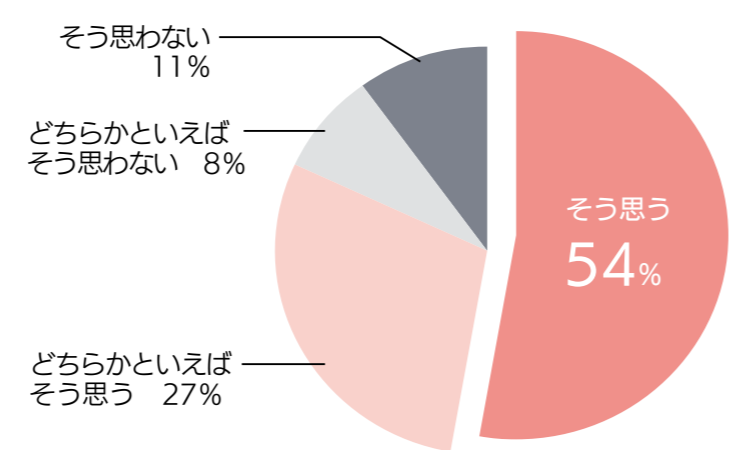
Q あなたが独身でいる理由は何ですか



果1)。しかし、図2のように、市の未婚率は年々上昇しています。独身の人に、現在結婚していません理由を聞くと、約20%が「結婚したいと思う相手に巡り合えていない」と回答しました(結果2)。特に、30代は約60%がこの理由を回答。また、「独身の自由さや気楽さを失いたくない」や「結婚した後、経済力に不安がある」など、結婚したいという思いとは裏腹に、結婚への不安を抱いている人が多いことが分かりました。結婚とは何かを尋ねた質問では、多くの人が「幸せ」や「喜び」など、前向きな回答をした一方で、「我慢」や「不自由」など結婚への不安を表現した人もいました(結果3)。

【結果1】

Q あなたは結婚したいと思いますか



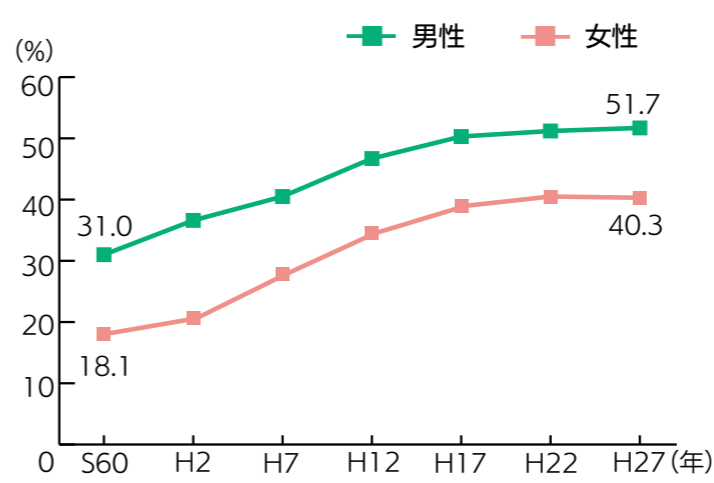
少子化と未婚化が共に加速 昨年国内で生まれた子どもは過去最少の84万832人。また、2015年の50歳時の未婚割合は、男性23%、女性14%と20年前と比べてどちらも約3倍に増加。日本の少子化、未婚化は加速しています。柳川市も例外ではなく、昨年生まれた子どもは、415人で、約20年前の平成11年と比べると、200人以上減少しています(図1)。また、市内の未婚率は、昭和60年に男性31%、女性18.1%だったのが、平成27年には男性が51.7%、女性は40.3%と、男女共に大きく増加しています(図2)。特に男性は、周辺の市町村と比べて、未婚率が高くなっています。

少子化や未婚化は人口減少に直結します。人口が減ると、経済成長が低下し、消費も低下。それによって所得や税収が減少することが予想されます。少子化や未婚化は、行政が抱える課題の一つです。

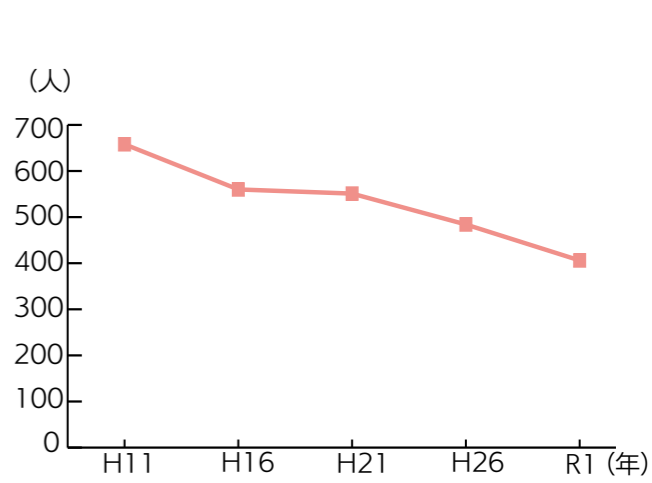
結婚したい一方 結婚に不安を抱いている人が多数

そこで今回は、18歳から45歳の独身119人を対象に、結婚に対する考え方を調査しました。「結婚したいと思うか」という質問には、約81%が「そう思う」か「どちらかといえばそう思う」と回答(結果2)。

【図2】市内の未婚率 (25～39歳)



【図1】市内の出生数



誰かと寄り添うことは すてきなこと



結婚相談所
ラフターマリッジ
恒成 幸政 代表

20代から30代の相談者が増加

15年前の結婚相談所の利用者は、40代後半がほとんどでした。しかし、最近は20代から30代の人が増えています。アプリなどの普及で、若い人も婚活へ踏み出しやすくなっているのだと思います。結婚相手に求める条件は、年収や容姿にこだわる人が減り、人柄や感覚で自分と合うと感じた相手を選ぶ人が増えました。

一人の時間を楽しむ人が増加 結婚はしたい人がする時代へ

未婚率が上昇しているのは、「結婚しなければいけない」という風潮が薄れてきているから。以前は、「女性は適齢期になったら結婚するのが当たり前」という考えの人が多くいました。しかし、最近は、結婚に対する考え方が自由になり、晩婚化も進行しているのです。30代で独身でいることに焦りを感じない人が多くいます。とはいえ、厚生労働省の調査によると、18歳から34歳の独身者のうち、男性約86%、女性約89%が「できれば結婚したい」と思っているようです。現在は、一人カラオケなど「一人〇〇」とよくテレビなどで取り上げられているように、一人で趣味の時間を楽しむ人が増え、結婚は必ずするものではなく、人生を豊かにするための一つの選択肢になっているのではないのでしょうか。今の時代、結婚に関する考え方はさまざまですが、誰かと寄り添って、家族と一緒に築いていくことは、すてきなことだと思います。



結婚13年目

中山 幸宏さん(42歳)、さよこさん(42歳)
愛梨さん(11歳)、敦斗君(8歳)

平成20年に結婚し、平成27年に美容室「ヘアボンアミ」を開店。仕事と子育てを夫婦で協力して両立させている。

人生に彩りをくれた 家族に感謝

今年で結婚13年目を迎えた中山さん夫婦。出会いのきっかけは、美容師の専門学校だったそうです。卒業後それぞれ別の美容室に就職。仕事をしながら10年間のお付き合いを経て、平成20年に結婚しました。平成27年に2人で美容室を開店。北九州が地元のないよこさんは「最初は慣れない土地で、言葉などに戸惑いはあったけど、地域の皆さんに温かく迎えられる、今も楽しく働いている」と話します。

現在、愛梨さんと敦斗君2人の子宝に恵まれ、家族4人で毎日にぎやかに暮らしているそうです。「子どもの成長を夫婦2人で見られるのはとても楽しい」と幸宏さんは人生に彩りをくれた家族への感謝を口にします。仕事だけでなく、家庭でも家事を分担するなど夫婦で協力しているそうです。

そんな2人に夫婦円満の秘訣を聞くと「お互いの気持ちを尊重して、優しく接すること」と答えてくれました。「結婚しても気持ちは付き合っていた頃と何も変わらない。お互いを思いやるのが大切」と話す2人。写真撮影の時に見せてくれた4人の笑顔が、家族の円満さを物語っていました。



柳川で暮らす夫婦が語る

家族が増える結婚のすばらしさ

独身男女の多くが何らかの不安を抱えている結婚。実際に結婚した夫婦は、結婚をどうとらえているのでしょうか。そこで今度は、市内で暮らす2組の夫婦に話を聞きました。夫婦が語ったのは、2人で寄り添って生きていくことの喜び。そして、お互いの気持ちを尊重して寄り添うすばらしさでした。一人では乗り越えられない困難を乗り越えられること、人生を豊かにしてくれる存在ができることは、結婚することので得られるかけがえのないものです。



結婚37年目

本木 敏彦さん(68歳)、准子さん(65歳)

敏彦さんが株式会社ファインテックの代表取締役、准子さんが専務取締役を務める。昭和59年に結婚。翌60年に同社を立ち上げ、二人三脚の経営で約300人の会社に育てあげている。

わずらわしさ以上の価値が 結婚にはある

出会いのきっかけはお見合い。昭和59年に結婚し、翌年に2人でファインテックを立ち上げた2人は、「創業から2年間経営は赤字。甘い新婚生活とはほど遠く、毎日が死闘だった」と当時を振り返ります。特に以前働いていた幼稚園を退職して結婚した准子さんは、環境が一気に変わり、戸惑いもあったそうです。赤字が続く中、頑張ったのは2人の目標が同じだったから。

最後に、結婚とは何かを尋ねると、「同じ夢に向かって『苦楽を共に分かち合う豊かな人生』これが結婚」と笑顔で答えてくれました。

「世界に名を残す会社という目標を目指して、2人で何度も話し合いをした。悔しい思いもたくさんあったけど、この2年間を乗り越えられたおかげで、

出合いのきっかけはお見合い。昭和59年に結婚し、翌年に2人でファインテックを立ち上げた2人は、「創業から2年間経営は赤字。甘い新婚生活とはほど遠く、毎日が死闘だった」と当時を振り返ります。特に以前働いていた幼稚園を退職して結婚した准子さんは、環境が一気に変わり、戸惑いもあったそうです。赤字が続く中、頑張ったのは2人の目標が同じだったから。

最後に、結婚とは何かを尋ねると、「同じ夢に向かって『苦楽を共に分かち合う豊かな人生』これが結婚」と笑顔で答えてくれました。





新婚生活



結婚



出会い

出会いから新婚生活まで 柳川で暮らす 夫婦を応援

家族が増え、人生を豊かにしてくれる結婚。市や県は、結婚を希望する若い世代を応援するため、出会いの場を提供しています。また、結婚後も家族で住み続けられるまちにするために、若い世代の移住や定住を支援しています。

若い世代の出会いを応援

市主催の婚活イベント
市は若い世代の出会いを応援するために、婚活イベントを年に数回開催しています。昨年度から、コロナ禍でも安心して、気軽に参加できるように、オンラインイベントを実施。オンライン婚活イベントに参加した50%以上の人がカップルになっていきます。開催情報は広報紙や公式サイト、あかい糸めーるで発信しています。

あかい糸めーる

県は、結婚を希望する独身の人を応援する企業や団体を「出会い応援団体」として登録し、パーティーやバスツアーなどの出会いイベント情報を「あかい糸めーる」で配信しています。QRコードを読み取って簡単に登録できます。また、出会い応援団体も随時募集しています。



【問】県出会い応援事務局 (☎092-733-8202)

結婚祝いやなほポイントとクリアファイルを贈呈

結婚おめでとうポイント

市に婚姻届を提出したカップルのどちらか一人にやなほポイント1000ポイントをプレゼント
オリジナル婚姻届記念ファイル
市に婚姻届を提出したカップルに、婚姻届のコピーを保存できる記念ファイルをプレゼント

新婚世帯や45歳以下の人を対象に住宅取得を支援

新婚世帯マイホーム取得支援
結婚を機に市内で新生活を始めた夫婦に住宅取得費を最大30万円補助

対象 次の全ての要件に該当する人▽令和3年1月1日以降に婚姻届が受理された夫婦▽婚姻日時点で、年齢が夫婦共に39歳以下、など

申請期間 令和3年1月2日から令和4年1月1日までに住宅を取得した人は令和4年3月31日まで

U・45マイホーム取得支援

45歳以下で市内に新しく住宅を建てた人や、住宅を購入した人は、申請するとやなほ加盟店で使える5万円分の商品券がもらえます。来年1月1日までに住宅を取得した人は、来年3月31日までに申請が必要です。

【問】市企画企画係 (☎77・8423)

前回のオンライン婚活参加者の声



(30代女性)

イベント後にご縁をつなげてくれて、サポートがすばらしかった

Zoomの操作などの事前セミナーがあったおかげで、当日は心配なく参加できた



(30代男性)



(30代男性)

内容が充実していて、進行も円滑だった。また機会があれば参加したい

イベントの前から不安に思っていることに対して丁寧に対応してくれて、安心して参加できた



(30代女性)

申込締切

10/18

運命の出会いを探ませんか 恋も実る秋のオンライン婚活

毎回大好評のオンライン婚活イベントを開催します。8月に開催したイベントでは、男女12人が参加し、3組がカップル成立となりました。コロナ禍でなかなか出会いがない人は、ぜひ参加してください。

- 日時 10月30日(土)、午後7時～9時
※1時間程度のスキルアップセミナーの受講が必要です。10月23日(土)と24日(日)に開催するので、どちらかに参加してください。
- 対象 次の全ての要件に該当する人(男女6人ずつの計12人)
①25歳～40歳で市内在住か将来的に市への移住に関

心がある独身男女②インターネット環境があり、パソコンやタブレット、スマートフォンのいずれかを持っている人

- 参加費 無料
- 申込方法 10月18日(月)までにラフターマリッジ公式サイトから申し込み
※申し込み多数の場合は抽選で決定。抽選結果は10月21日(木)までに連絡します。
- 【問】市企画課企画係 (☎77・8423)



婚活イベント